

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年11月11日 (2010.11.11)

【公開番号】特開2010-214111(P2010-214111A)

【公開日】平成22年9月30日 (2010.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-039

【出願番号】特願2010-55369(P2010-55369)

【国際特許分類】

A 6 3 B 53/04 (2006.01)

A 6 3 B 37/04 (2006.01)

A 6 3 B 37/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 53/04 A

A 6 3 B 37/04

A 6 3 B 37/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月6日 (2010.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゴルフクラブおよびゴルフボールを有し、

上記ゴルフボールは、上記クラブで叩いたときに、打ち上げ角度 () および初期スピ
ンレート (i) が、 $86 + i$ 4310 の関係を満たすことを特徴とするゴルフク
ラブおよびゴルフボールの組。

【請求項 2】

重心が上記ゴルフクラブの地面レベルの上方の 15 mm ~ 25 mm に位置するゴルフク
ラブと、

上記ゴルフクラブで叩いたときに、揚力係数の初期対終期比が 0.64 に対し 3.20
であり、抗力係数の初期対終期比が 0.76 に対し 0.99 であり、揚力対抗力比の初期
対終期比が 0.65 に対し 3.40 であるゴルフボールとを有することを特徴とするゴル
フクラブおよびボールの組。

【請求項 3】

ゴルフボールの移動距離を最大化させる方法において、

ゴルフクラブヘッドの重心を上記ゴルフクラブの地面レベルの上方の 10 mm ~ 30 m
m に調整し、

上記ゴルフボールの揚力係数の初期対終期比を 0.64 に対して 3.20 に調整し、

上記ゴルフボールの抗力係数の初期対終期比を 0.76 に対して 0.99 に調整し、

上記ゴルフボールの揚力対抗力比の初期対終期比を 0.65 に対して 3.40 に調整し

、

上記ゴルフボールは、上記クラブで叩いたときに、打ち上げ角度 () および初期スピ
ンレート (i) が、 $86 + i$ 3710 の関係を満たすことを特徴とする上記方法

。